

ショートステイ サンタの森

【介護施設】

木に癒され、心安らぐ憩いの場

地元の西川材(スギ・ヒノキ)をふんだんに使用し、利用者が自然の木の香りとぬくもりが感じられ、滞在中に心が癒され、休まる施設づくりを目指しました。ホールの吹き抜け大空間は施設のシンボルであり、事務所カウンター、居室、ペランダに至る全ての場所に木の感触を味わっていただけよう工夫しました。



1.木をふんだんに使用した吹き抜け大空間
2.木の温もりを感じさせる事務所カウンター

基本情報

所在地 埼玉県飯能市矢風398-1
 施設の用途 社会福祉施設
 事業主 有限会社TKY・クリエイティブ・サービス
 設計者 ナック建築設計
 施工者 蔦屋株式会社
 竣工 平成29年1月
 構造 木造平屋建て

地域区分 その他の区域
 耐火等の要件 その他建築物
 延床面積 697.83㎡
 木材使用量 83.36㎡(うち県産木材83.36㎡)
 主な使用樹種 スギ、ヒノキ
 単位面積コスト 183,400円/㎡
 活用した補助事業 彩の木補助事業

地域福祉活動グループ おにの家 おにっこハウス

【障害福祉サービス事業所】

みんなの笑顔に囲まれて楽しく働けるお店です

県産木材をふんだんに使用し、喫茶レストラン兼農産物直売所とみそ加工所が建ち並び、山小屋風の建物にしました。「心身のハンディを問わず働く場を提供する」をモットーに掲げ、みんなが笑顔になり心地よく過ごせる施設を目指しました。施設の名称は、地域に溶け込みたいという思いを込め、童話「泣いた赤鬼」から命名しました。



1.木の香りがする暖かい店内です
2.木のぬくもりのある店内で、ハンディのある人もない人も共に働いています

基本情報

所在地 埼玉県熊谷市板井1220-1
 施設の用途 社会福祉施設
 事業主 特定非営利活動法人おにの家
 設計者 叶建築設計事務所
 施工者 株式会社 ヴィンテージ・ヴァリユー
 竣工 平成27年2月
 構造 木造平屋建て

地域区分 その他の区域
 耐火等の要件 その他建築物
 延床面積 299.77㎡
 木材使用量 55.32㎡(うち県産木材39.10㎡)
 主な使用樹種 スギ
 活用した補助事業 森林整備加速化・林業再生事業



リゾート感覚が楽しめる外観



山小屋風の木造建築物です

CASE
12

木造建築物

トーベ・ヤンソン
あけぼの
子どもの森公園
ギャラリーカフェ

【店舗】

鮮やかなブルーの外観が印象的な北欧風カフェ

地元材である西川材のスギを使用した建物で、玄関正面の階段は、真上から見た形状がアンモナイトの舌をイメージし、穏やかな空調である放射式冷暖房設備を採用しています。1階は、ギャラリースペースも兼ね、外のベランダと一体感があり、2階は、コンパクトながら施設全体が見渡せる、開放感ある空間になっています。建物は、北欧風カフェ'Cafe PUISTO'として、「人と地域がつながり、ゆっくりと北欧時間が流れる場所」をコンセプトに、北欧らしいメニューを揃え、西川材と北欧のコラボ家具やファブリックで装飾されています。店内には、キッズスペースもあり、子どももゆっくり楽しめます。



季節を問わず、ブルーの外壁が映える外観

基本情報

所在地	埼玉県飯能市大字阿須893番地の1
施設の用途	店舗
事業主	飯能市
設計者	村山建築設計事務所
施工者	株式会社 矢島工務店
竣工	平成30年3月
構造	木造、地上2階建て
地域区分	その他の区域
耐火等の要件	その他建築物
延床面積	98.77㎡
木材使用量	16.63㎡(うち県産木材16.63㎡)
主な使用樹種	スギ、ヒノキ
単位面積コスト	851,744円/㎡
活用した補助事業	地方創生拠点整備交付金



開放感のある2階のカフェスペース



アンモナイトの舌のような階段

CASE
13

木造建築物

道の駅
和紙の里ひがしちちぶ東秩父村
バスターミナル

【バスターミナル】

木の力強さと温かみを伝える、人の行き交うターミナル

東秩父村路線バス再編（ハブ化構想）を実現するため、村の主要観光施設「和紙の里」に、村で初めてとなるバスターミナルを整備した事例です。木造部分は、全て村の木材を使用しています。また、内部2本の支柱には、平成26年にユネスコ無形文化遺産に登録された「手漉和紙技術」により製紙された「細川紙」を活用しています。



山村景観に合う印象的な外観



基本情報

所在地 埼玉県秩父郡東秩父村御堂441番地
 施設の用途 旅客施設
 事業主 東秩父村
 設計者 水谷意匠一級建築士事務所
 施工者 関根建設
 竣工 平成28年10月
 構造 木造平屋建て



1.木造と和紙の調和がとれた景観
 2.室内には、木の温もりを感じられる大きな木製テーブル

地域区分 その他の区域
 耐火等の要件 その他建築物
 延床面積 310.00㎡
 木材使用量 53.15㎡(うち県産木材53.15㎡)
 主な使用樹種 ヒノキ

CASE
13

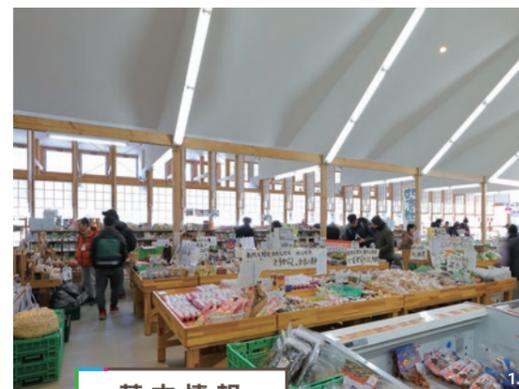
木造建築物

道の駅
和紙の里ひがしちちぶ東秩父農産物
直売所

【店舗】

木材と和紙が織りなす村の直売所

東秩父村は、埼玉県内唯一の村です。村の安戸地区から移転新築した農産物直売所では、地元の農家が作った新鮮な野菜や地卵、手作りの総菜などを取り揃え観光客を迎えるとともに、昔ながらの木造とユネスコ無形文化遺産に登録された細川紙のコラボレーションが、近代的な作りと重なり、訪れた人の目を楽しませてくれます。直売所に併設された「フードコート」も木を多く使用し温かみのある施設となっています。



基本情報

所在地 埼玉県秩父郡東秩父村御堂441番地
 施設の用途 店舗
 事業主 東秩父村
 設計者 松本康弘建築工房
 施工者 株式会社 槻川住建工業
 竣工 平成28年10月
 構造 木造平屋建て



1.近代的な建物の中に、太陽の光と木と和紙を組み合わせた柔らかな空間
 2.直売所のフードコートも木の温もりを感じられる

地域区分 その他の区域
 耐火等の要件 その他建築物
 延床面積 659.73㎡
 木材使用量 67.14㎡(うち県産木材32.32㎡)
 主な使用樹種 ヒノキ
 活用した補助事業 地方創生加速化交付金



自然の中に溶け込み安らぎを感じます



CASE
14

木造建築物

埼玉県立 川の博物館 「大水車」

【水車】

迫力満点！「川の国 埼玉」が誇る日本一の大水車

この大水車には、西川材のヒノキを使用しています。西川材は、木材の色、艶が良く、年輪が緻密で節が少ない木材として知られています。水車の中心から伸びる柱「ゴコウ」には、1本の真っすぐな木材が必要だったため、直径40cm以上で長さ20m以上のヒノキの丸太を70本以上調達し、使用しました。

また、今回の改修工事で水輪の直径を23.0mから24.2mと一回り大きくしたことから、日本一の大きさとなりました。木材の温かみを感じられるこの大水車によって、川の博物館が「川の国 埼玉」の魅力を発信していく拠点としてますます発展することを期待しています。



青い空に映える大水車

基本情報

所在地	埼玉県大里郡寄居町小園39
施設の用途	博物館
事業主	埼玉県
設計者	株式会社 田中住建
施工者	株式会社 田中住建
竣工	令和元年7月
構造	木製水車(水輪の直径24.2m)
木材使用量	42.00㎡(うち県産木材42.00㎡)
主な使用樹種	ヒノキ



真っすぐなヒノキが美しく組みまれています

CASE 15

木造建築物

埼玉県農林公園
木材文化館
(木育ひろば)

【イベント施設】

遊びに行こう！子どもたちの
笑顔が集う「木育ひろば」

埼玉県初の大規模木造建築物であり、記念碑的施設です。この施設は、広く一般県民を対象に、「木・森・土」を基本テーマに木材の良さ、森林・林業の役割、埼玉県の農業の姿や、新しい技術の紹介を通して、農林業への理解を深めてもらうことを目的としています。

近年は、内装をリニューアルし、埼玉県における木育の拠点施設としてたくさんの県民の方々に親しまれています。



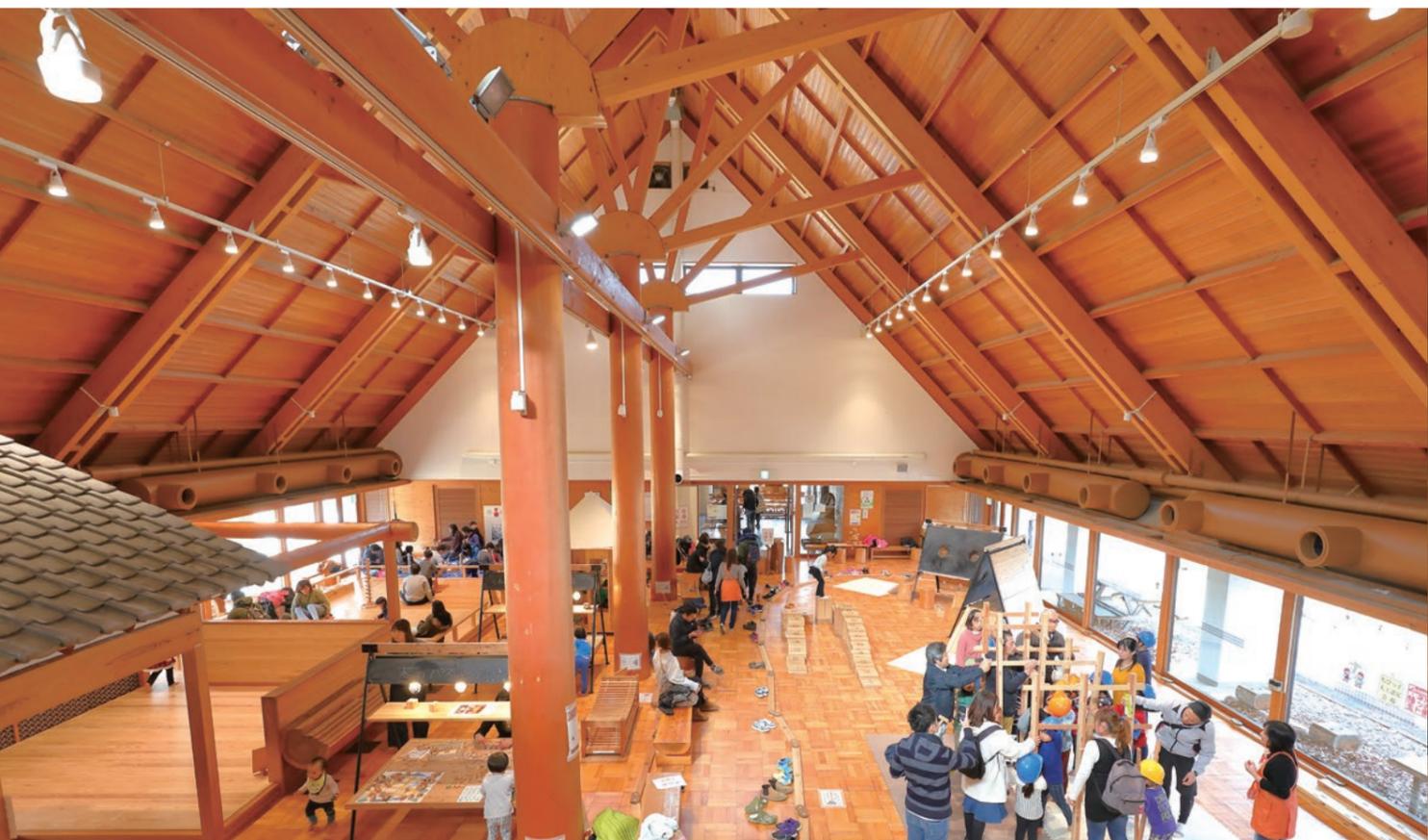
1.「木育」発信拠点は木のおもちゃがいっぱい
2.木のジャングルジムで大工さん気分



基本情報

所在地 埼玉県深谷市本田5768-1
施設の用途 イベント施設
事業主 埼玉県
設計者 埼玉県営繕工事事務所
施工者 株式会社 時田工務店
竣工 昭和63年3月(リニューアル平成30年3月)
構造 木造1階建て(一部2階)・RC造

地域区分 その他の区域
耐火等の要件 その他建築物
延床面積 832.00㎡
木材使用量 205.00㎡(うち県産木材46.00㎡)
主な使用樹種 スギ、ヒノキ、ペイマツ
単位面積コスト 193,870円/㎡
活用した補助事業 林業・木材産業構造改革事業



昭和、平成、令和と時代をまたいで県民に親しまれています

CASE 16

木質化建築物

東武日光線幸手駅

東西自由通路

【歩行者専用道路】

宿場町のにぎわいを感じられる木の通路

鉄道によって東西に分断された地域を結ぶための自由通路です。通行のためだけでなく、待ち合いや催事、市のPRの場として活用できる施設を整備しました。

幸手市は、江戸期に整備された日光道中及び日光御成道の宿場町として町場を形成し、賑わいをみせてきました。東西自由通路は、幸手市の持つ宿場町のイメージをコンセプトにデザインされており、秩父産のスギ材を用いて内装木質化を行い、町場に建ち並ぶ建物の軒下を表現しています。

「埼玉県街路事業推進協議会会長賞」受賞(令和元年度)



1.普段は市のPRの場として活用しています。木のベンチも人気です
2.宿場町の軒下をイメージした天井と壁

基本情報

所在地 埼玉県幸手市中一丁目4488-20地内外
施設の用途 歩行者専用道路
事業主 幸手市
設計者 東日本総合計画株式会社一級建築士事務所
施工者 河本工業株式会社
竣工 平成31年3月
構造 鉄骨造

地域区分 準防火地域(一部)
延床面積 1,045.51㎡
木材使用量 19.68㎡(うち県産木材7.49㎡)
主な使用樹種 スギ
単位面積コスト 37,905円/㎡
活用した補助事業 林業・木材産業構造改革事業



通行のほか、待ち合いや催事の場所となるスペース

和光市立
下新倉小学校

【小学校】

エントランスを抜けると「森」が広がる小学校

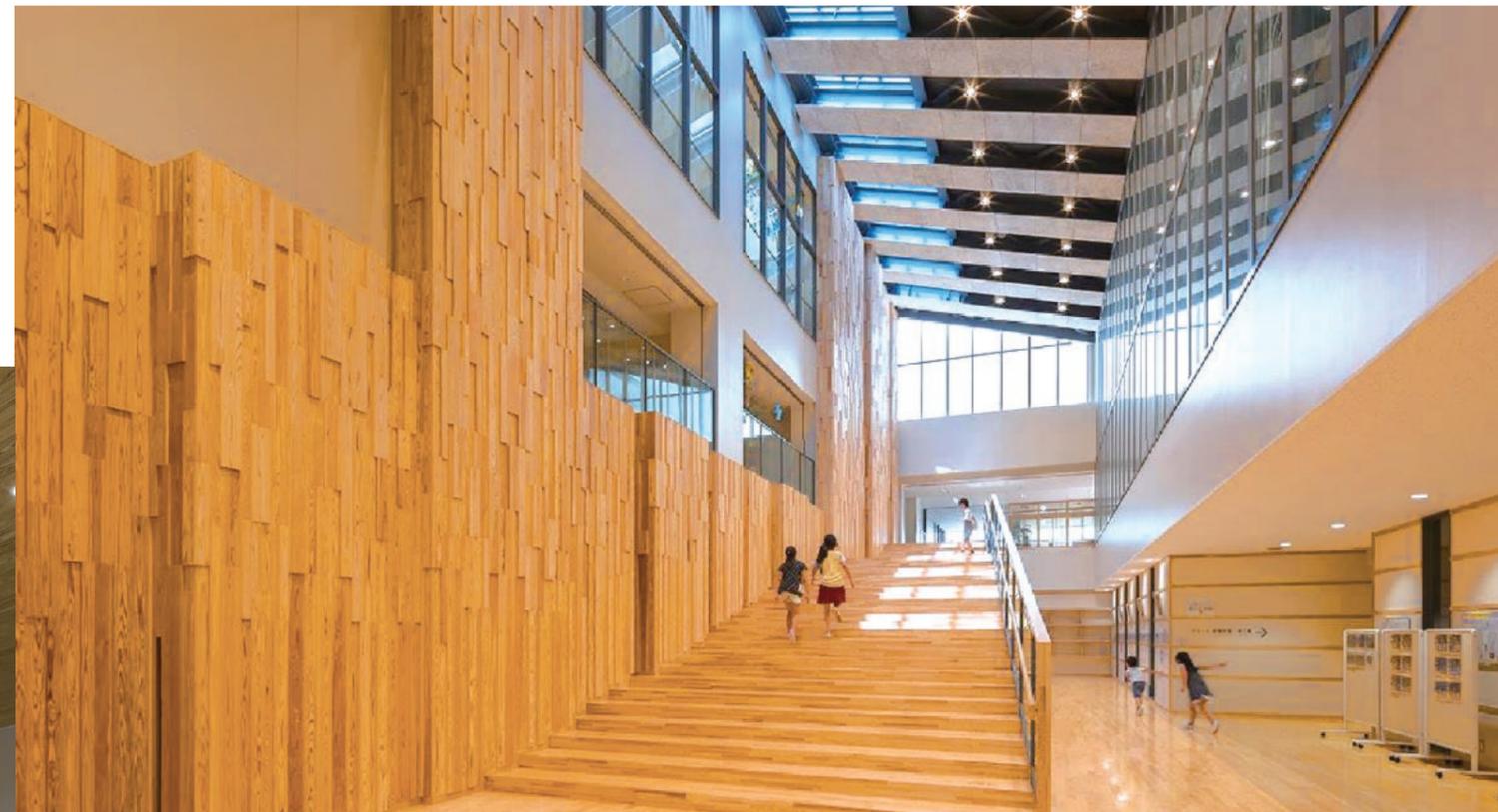
エントランスから昇降口へと続く天井及び「森のホール」の壁に、埼玉県産のスギをふんだんに使用しています。「森のホール」は校舎棟の中心となる部分で1階～3階までの吹き抜けとなっており、その壁面にスギを用いることで、木の温かみを感じることができ、折り重なる樹木に見立てています。そして、ホール正面にある高い窓やトップライトにより柔らかく明るい、あたたかも「木立の中の木漏れ日に包まれる」そんな心地よい場所を目指しました。また、こどもたちを「森のホール」に集め階段に腰を下ろし演奏会を開く場所とするなど、こどもたちの発表の場ともなっています。

「彩の国みどりの優秀プラン賞」受賞(平成30年度)

「第20回日本建築家協会環境建築賞 優秀賞」受賞(令和元年度)



「森のホール」へと続く昇降口。天井にスギの羽目板を使用



音の響きが素晴らしい「森のホール」での演奏会

基本情報

所在地	埼玉県和光市下新倉5丁目21番1号
施設の用途	学校
事業主	和光市
設計者	株式会社 松田平田設計
施工者	北野建設 株式会社
竣工	平成28年3月
構造	RC造一部鉄骨造、SRC造
地域区分	その他の区域
耐火等の要件	耐火建築物
延床面積	8,942.74㎡
木材使用量	1,198.00㎡(うち県産木材342.00㎡)
主な使用樹種	スギ
活用した補助事業	公立学校施設整備費国庫負担金



落ち着いた印象のエントランス。天井にスギの羽目板を使用



CASE 18 木質化建築物

秩父市役所 秩父宮記念 市民会館

【庁舎】

秩父の木をふんだんに使った交流・文化・芸術の拠点

秩父市役所新庁舎では、各階の腰壁、エントランスのオブジェ、議場内装材などに木材を使用。市民会館では、エントランスの磨き丸太、大ホールフォレストの客席壁、ヒノキ舞台、舞台枠の角柱に木材を使用しています。木材は秩父市大滝の栃本市有林(約60ha)をメインに、集成材などは吉田地区の私有林から生産された木が使われており、ほとんどが秩父産木材です。



新庁舎4階にある議場です

基本情報

所在地	埼玉県秩父市熊木町8番15号
施設の用途	庁舎
事業主	秩父市
設計者	佐藤総合計画・丸岡設計特定設計共同企業体
施工者	本体:大成・高橋特定建設工事共同企業体 舞台:森平舞台機構 株式会社
竣工	平成29年2月
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部S造) 地下1階 地上4階 塔屋1階
地域区分	準防火地域
耐火等の要件	耐火建築物
延床面積	9,926.75㎡
木材使用量	121.67㎡(うち県産木材121.67㎡)
主な使用樹種	スギ、ヒノキ



市民会館大ホールフォレストです

CASE 19

木質化建築物

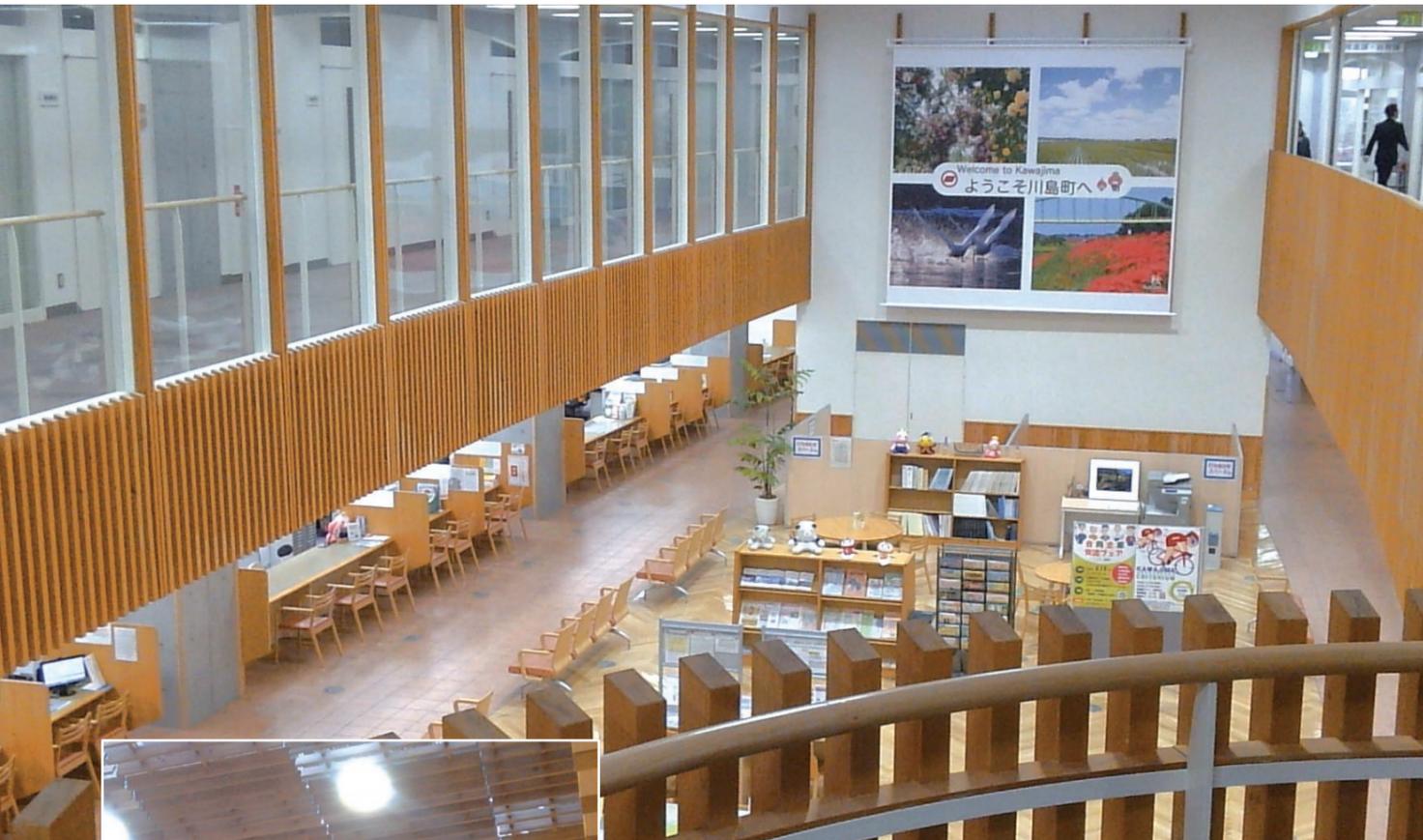
川島町
役場

【庁舎】

木もれびが差し込む、親しみのある町役場

川島町役場庁舎は平成27年12月に竣工し、翌年1月に役場機能を移転させて、利用を開始しました。庁舎の建設にあたっては、利用しやすい施設とすることを前提に、環境にも配慮しつつ、町民に親しみの持たれる施設となるよう、内装にときがわ町産のヒノキを使用して、木質化を実施しました。

待合スペースでは床面を中心に木材を使用することで、温かみのある施設とすることができ、トップライトの自然採光や吹き抜け部分にも木材を使用することで、自然で優しい明るさを提供することができました。



2階からの全景

1. トップライト・吹き抜け
2. 待合スペース

基本情報

所在地	埼玉県比企郡川島町 下八ツ林870番地1	地域区分	その他の区域
施設の用途	庁舎	耐火等の要件	耐火建築物
事業主	川島町	延床面積	4,640.97㎡
設計者	株式会社 大宇根建築設計事務所	木材使用量	27.04㎡ (うち県産木材27.04㎡)
施工者	株式会社 島村工業	主な使用樹種	ヒノキ
竣工	平成27年12月	活用した補助事業	林業・木材産業構造改革事業
構造	鉄筋コンクリート造2階建て(一部4階建て)		

CASE 20

木質化建築物

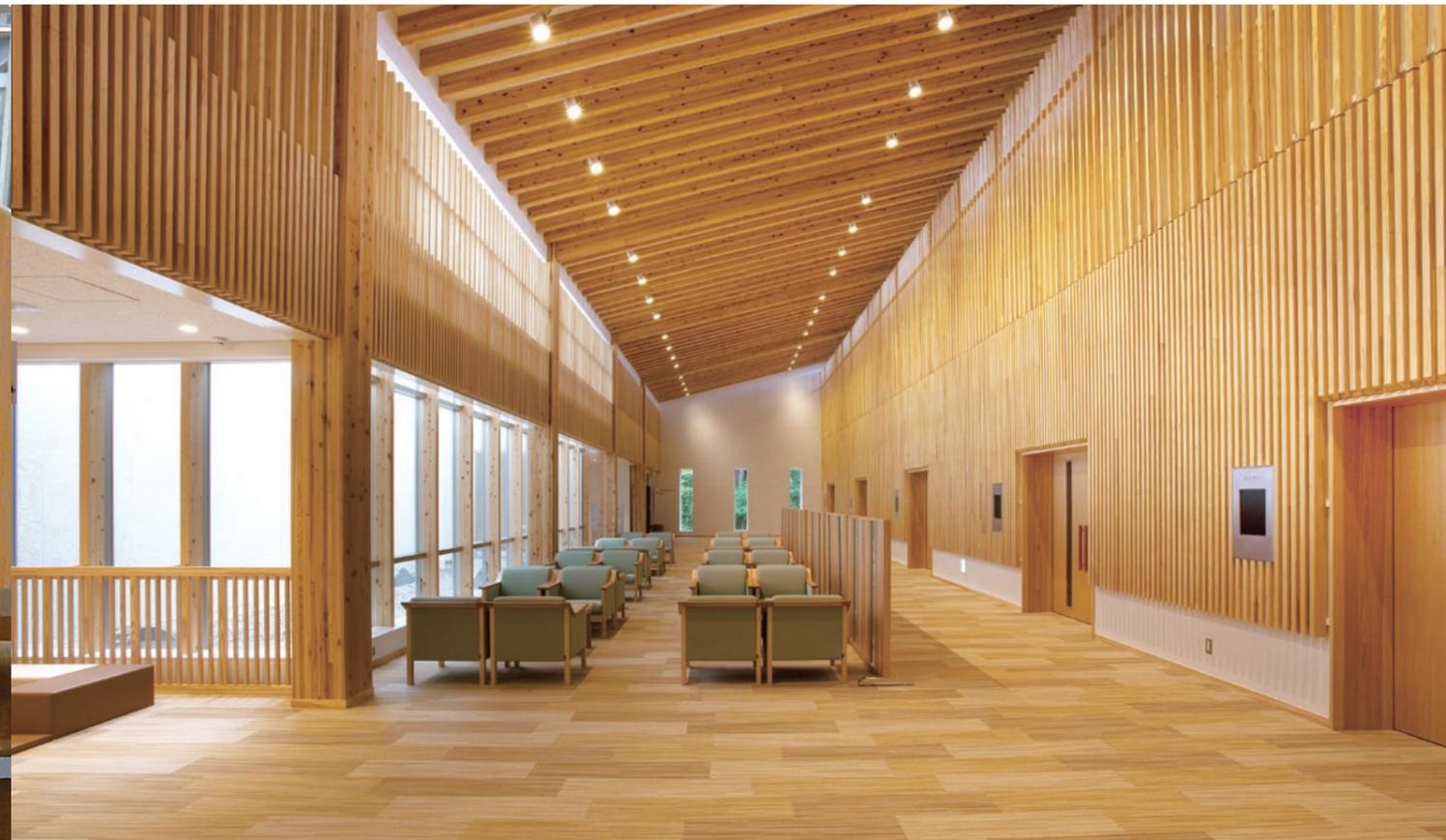
秩父齋場

【齋場】

「里の森」にたたく、心を癒すぬくもりのある齋場

秩父の新しい齋場は、木造の待合棟をはじめ、建物や家具に秩父産のスギとヒノキをふんだんに取り入れ、秩父銘仙をアクセントに使用し「木のぬくもり」に包まれた空間を実現しています。周辺の秩父の原風景である雑木林と相まって秩父らしい温かみのある、里山に抱かれた「里の森」の齋場とすることができました。

「2018ウッドデザイン賞 ハートフルデザイン部門」受賞



待合ホール(椅子・テーブル等の調度品にも秩父産木材使用)



基本情報

所在地	埼玉県秩父市大宮5361番地2	地域区分	その他の区域
施設の用途	齋場	耐火等の要件	耐火建築物
事業主	秩父広域市町村圏組合	延床面積	2,915.34㎡
設計者	株式会社 梓設計	木材使用量	177.74㎡(うち県産木材177.74㎡)
施工者	守屋八潮・齋藤特定建設工事共同企業体	主な使用樹種	スギ、ヒノキ
竣工	平成29年3月		
構造	鉄筋コンクリート造(一部木造)2階建て		

1. 軒天に秩父産スギ材を使用した玄関ロータリー庇
2. 屋外の自然と調和したこもれびモール

埼玉県木造建築技術 アドバイザー制度の御案内

「埼玉県木造建築技術アドバイザー制度」は、公共建築物等の木造化・木質化を検討している市町村等に対して、技術的な助言や木材関連情報の提供等の支援を実施するものです。

支援を通じて、埼玉県産木材を利用しやすい環境を整え、県産木材の需要拡大を図り、森林の循環利用を推進します。

埼玉県木造建築技術アドバイザーとは

木造建築技術及び木材に関する専門的知識を有すると埼玉県が認められた者を、中大規模木造建築設計、原木供給、製材供給、プレカット加工等の技術区分ごとに埼玉県木造建築技術アドバイザーとして登録しています。登録者名簿は、下記のWEBサイトで公開しています。

利用対象者は

公共建築物等の木造化・木質化を検討している市町村等、公共建築物等の木造化・木質化に携わる建築士、施工業者等です。

対象施設は

埼玉県内に建設される(所在する)次のような公共建築物等です。

- ① 学校、幼稚園、体育館・水泳場・講堂等
- ② 医療施設(病院・診療所等)、社会福祉施設(老人ホーム、福祉ホーム、保育所等)
- ③ 社会教育施設(図書館、公民館、青年の家等)
- ④ 公共交通機関の旅客施設、高速道路の休憩施設(併設の商業施設を除く)
- ⑤ 市町村庁舎、公営住宅

支援内容は

埼玉県木造建築技術アドバイザーの派遣もしくは電話相談により支援します。

- ① 企画から、計画、設計、施工の各段階の木造建築技術に関する技術的な助言
- ② 木材に関する情報(県産木材の調達方法等)の提供
- ③ 市町村等の木材利用推進体制の構築・運営支援

アドバイスの費用は

埼玉県木造建築技術アドバイザーによる支援費用(派遣費用・電話相談費用)はかかりません。ただし、事業の直接的な費用(設計費・工事費等)や会議等の開催費用(会場費、資料等コピー費等)は、助成の対象となりません。

制度の詳細については

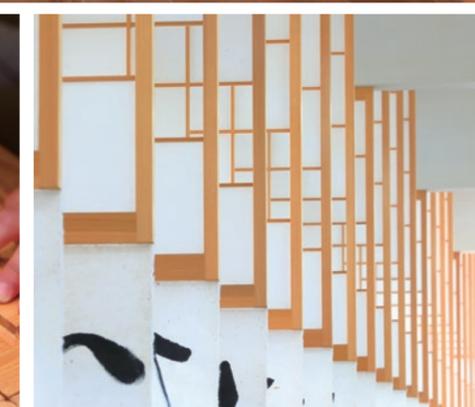
【お問合せ先】

埼玉県農林部森づくり課木材利用推進・林業支援担当
TEL:048-830-4318 FAX:048-830-4839
E-mail:a4300-11@pref.saitama.lg.jp

埼玉県WEBサイトに、制度の概要と埼玉県木造建築技術アドバイザー登録者名簿を掲載しています。
<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0905/mokuado.html>



埼玉県農林公園 木材文化館



道の駅 和紙の里ひがしちぶ 東秩父農産物直売所



秩父消防署西分署



埼玉県マスコット さいたまっちょ&コバトン

都市と山をつなぐ
「木」になる施設
埼玉県産木材利用事例集

発行日 ■ 令和2年3月

発行 ■ 埼玉県農林部森づくり課
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL:048-830-4318 FAX:048-830-4839